



10月号

2006/OCT/No.94

KIAN

キャン

KAWASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
NEWS

主な内容

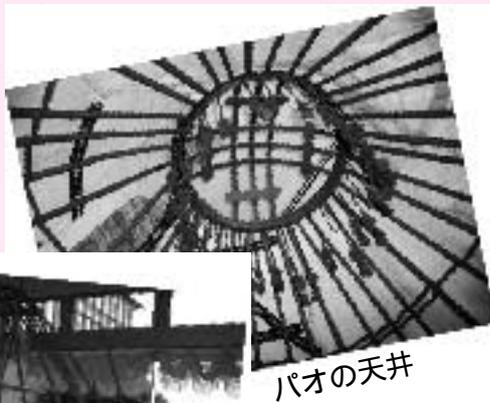
特集：“もっと知ろう!! 国際交流センター”新講座紹介.....	2 ~ 4	ページ
世界の食卓から：ギリシャ料理：コッキニスト.....	4	
第1回インターナショナル・フェスティバルから.....	5	
海外生活レポート：アフガニスタン 紀子・デスレフツさん.....	6	

第12回インターナショナル・フェスティバルから

2006インターナショナル・フェスティバル inかわサキが7月2日（日曜日）に行われました。今年例年を上回る大勢の人達の参加と、沢山の来場者を迎えてとても活気のあるフェスティバルとなりました。



キルギス共和国
国旗



パオの天井



パオの組み立て



世界の民族衣裳でパオの前に勢揃い

大草原の国から“パオ”がやってきた！ 中央アジア・キルギス共和国

今年のフェスティバルでは、初めてキルギス共和国の移動式住居“パオ”がお目見えしました。木製の骨組みと羊毛の織物で包まれた“パオ”は、前日、組み立てるのに4時間もかかったそうです。今回展示されたものは直径2m程のものでしたが、通常は6m程のものが主流です。「命の家」と呼ばれ、都会では結婚式、葬式、赤ちゃん誕生のお祝い、その他のお祭りに使われているそうです。また牧草地では、家畜と共に移動しながら現在もこの“パオ”に住んでいるそうです。

フェスティバルでは、たくさんの来場者が興味深げに“パオ”の中に入り、国旗と同じ模様になっている天井を眺めていました。また日本の三味線に似た楽器「コムズ」を使っての演奏で、牧歌的な音を楽しむこともできました。来場された皆さんはきっと「コムズ」にキルギスの草原を渡る風を感じることができたことでしょう。

ちなみに、昨年開催された愛知万博で展示されたこの“パオ”は現在、函館で行われている「シルクロード展」に展示されているそうです。